企業・団体名（　株式会社　クルミコーポレーション　）

（様式第3号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	□	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	各現場責任者を中心に管理・教育を行い、それを基に経営トップが集約しながら雇用・教育・福利厚生等社員の声に耳を傾けながら関与している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		□	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	現場へ入る際、全体会議でコンプライアンス研修を通して相談体制の構築を行う。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		□	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	労働基準法を基に改正内容等経営者・各現場管理者で共有し、休日出勤が伴う場合、振替休日の徹底を図り従業員の健康管理を図る。								8.5 8.8									
4		□	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	派遣労働者が勤務する現場が増えており、適切な処遇や労働環境の整備を心掛けている。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		□	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	各現場に入る前に安全委員会を行い、現場でのリスク等作業員と情報を共有しながら安全で衛生的な環境体制を構築する。			3					8									
6		□	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	経営者が定期的に従業員と面接を行い、普段の悩みや心のケアに取り組んでいる。			3														
7		□	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	現在、従業員の平均年齢が40代半ばで、今後高齢者の従業員が活躍できるよう安全に配慮しながら現場配置し、現場環境を提供している。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		□	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	平均年齢が40代半ばであり、技術面では成熟しているが、定期的に社長が技術能力の管理を行っている。				4	5.5			8	9								
9		□	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	労働契約法等改正内容を経営者・各現場で共有し、同一労働同一賃金の原則に沿った体制を構築。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		□	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】都道府県協会けんぽ、保健連に「健康づくりチャレンジ宣言」を行い、健康経営優良法人認定（経済産業省）の取得を目指す。			3					8									
11	環境	□	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	適切に分別し処理を行っている。（提携先の産業廃棄物処理事業者とリサイクル活動を実施）											11.6	12.4		14.1			
12		□	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	毎月請求される電気・ガスの内容を把握しながら使用料に気を使っている。							7.3						13				
13		□	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	本社で燃料・使用電力を記録に残し使用量の把握。（エアコンのON・OFFの徹底や温度管理等）							7.2 7.3					12.4	13.3				
14		□	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	法令で規制されている有害化学物質を把握し、各班に現場に入る際に適切な使用に取り組むよう徹底する。（各現場に有資格者を配置して管理し被害が及ばないように徹底）			3.9			6.3					11.6	12.4					
15		□	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	山林での工事や民間工事に入る際に自然環境に配慮しながら作業・設計を行う。						6.6									15		
16		□	【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	現場で無駄を無くすため、資材管理の徹底・既存品の再使用を従業員に周知させ、リサイクルに取り組んでいる。												12.5		14.1			

17		□	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	自社の水源を含む水利用状況を把握している。					6.4 6.6												

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18		□	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ				3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		□	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	HPで環境に配慮した製品を紹介しており、環境の取組みに関する情報開示を行っている。												12.6					
20		□	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ								7.2						13				
21		□	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	雨水を利用して天然資材の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる。												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行	□	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	汚職・贈収賄禁止等を含む内容を就業規則に定めており、従業員に周知徹底を図っている。																16 16.5	
23		□	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	不正競争行為を含む社内規制の整備と各現場への会議を実施し周知している。																16	
24		□	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	土木の作業の効率化を目指すために、知的財産の開発等心掛けている。								8.2 8.3	9								
25		□	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	「個人情報保護方針」に従って個人情報の利用目的等HPで公表し体制を整備している。（マスキングして提出）																16	
26		□	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	自社で扱う資材・機材を把握し、紛争鉱物を取り扱ってないことを確認している。																16	
27		□	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	行政を交えた意見交換会で、人権侵害防止や倫理面での適切な対応や市場調査等の情報供給を行っている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス	□	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	品質方針の達成のため、ISOの品質管理で継続的改善を図り、顧客から満足される品質提供を行っている。			3.9									12.4					
29		□	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	業務提携している企業と品質の良いモノを提供していくため品質改良を行っている。また顧客満足度を上げていくために、取引先様の声を参考にし社内共有している。									9								
30		□	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	2018年に雨どいメーカーの株式会社デンカと業務提供をし、雨水を利用した製品「てんすい」を開発し、環境への配慮に取り組んでいる。						6						12	13	14	15		
31		□	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】水源のない農地に「てんすい」を設置し、雨水を利用しながら工作をしていく。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	社会貢献・地域貢献	□	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	現場に入る前の計画段階で現地調査を行い、該当地域への影響を把握し改善に努めていく。				4					9		11	12		14	15		17
33		□	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	社会福祉協議会主催の「子ども食堂」に参加し社会貢献活動に取り組んでいる。				4							11			14	15		17
34		□	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	地域資源として地域の砂利や砕石を利用している。								8	9		11	12	13				
35	組織体制	□	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営理念・品質方針など明文化している。事業活動・方針等社員へ周知徹底を行う。								8	9								17
36		□	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	定例会議や研修を通してコンプライアンスの重要性を発信している。																16	
37		□	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	多数の技術資格者をを配置し、体制を構築している。																16	
38		□	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	設計から工事完成後のメンテナンスに至るまで発注者や利用者との対話を意識し、適切な対応を心掛けている。																16	17
39		□	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	ハザードマップ・リスクマップ等を活用してリスクを洗い出し、予め適切な対応を打合せしている。																16	
40		□	【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	ＣSR方針を地域の災害対応と定め、災害が発生した際に実施する緊急の調査・測量・設計業務に積極的に関わっている。（除雪作業等）																16	
41		□	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	事業継続力強化計画の認定を取得。 【予定】事業継続計画（ＢCP）の策定									9		11		13 13.1			16	
42		□	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	現在、同世代の従業員が多いが、承継できる人材を輩出できるよう尽力している。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）